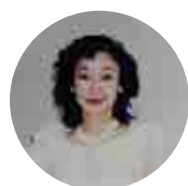


各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々、ウクライナの戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

暑かった夏が過ぎると 空気がどことなく澄んでいくような 朝となる

9/25(日)15:00～ フルートに魅せられて 入場無料

ずっとフルートと共に歩んできた2人のフルーティストの奏でる音色を、お楽しみください。  
(感染症対策を万全にして実施します。)



津田 公子



小室 佐和子

アレルヤ(ハレルヤ) モーツァルト  
へ調のメロディー ルビンシュタイン  
花のワルツ ケーラー  
NAVARRA サラサーテ  
ホールニューワールド 映画アラジンより

ピアノ：加藤 泉



他



## 賛美歌誕生秘話「起きよ 夜は明けぬ」

イエス・キリストが語られた譬え話に、このようなものがあります。「そこで、天の御国は、それぞれともしびを持って花婿を迎えに出る、十人の娘にたとえることができます。＜中略＞花婿が来るのが遅くなったので、娘たちはみな眠くなり寝入ってしまった。ところが夜中になって、『さあ、花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。そこで娘たちはみな起きて、自分のともしびを整えた。＜中略＞用意ができていた娘たちは彼と一緒に婚礼の祝宴に入り、戸が閉じられた。＜中略＞ですから、目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。」(マタイ 25:1-13)

この譬え話は、キリストが再びこの地上に来られること(再臨)を表しています。「花婿」とはキリスト、「十人の娘」はキリストを信じて待ち望む者たちのことです。

ここから生まれた讃美歌が、「起きよ 夜は明けぬ」です。作詞・作曲は、フィリップ・ニコライというドイツの牧師です。ある時、彼が赴任していた地方にペストが大流行しました。大勢の町民が次々に倒れ、彼は連日10回もの葬儀を行わなければならないほどでした。その体験から、彼は、「死と永遠のいのち」について深く考え、詞を書き、一冊の本にまとめたのです。この讃美歌もその中に収められていたものでした。彼は、様々な困難の中にあっても気落ちせず、永遠のいのちを約束してくださるキリストに希望をもって生きたのです。

1. 起きよ 夜は明けぬ <sup>ものみ</sup>夜警らは叫べり  
起きよ エルサレム  
<sup>おとめ</sup>乙女ら 目覚めよ 花婿は来ませり  
目覚めて迎えよ  
栄えの主は 降りましぬ ハレルヤ  
<sup>ともしびかか</sup>灯火掲げて いざ迎えまつれ
2. 喜びあふるる 夜警らの叫びに  
乙女らは覚めぬ  
栄えに輝く 主の降り給えば  
光は射し出ぬ  
主よよくこそ ましましけれ ハレルヤ  
<sup>むしろ</sup>祝いの筵に いざ着かせ給え
3. 天地こぞりて <sup>たく</sup>みいつ類いもなき  
主をたたえまつれ  
<sup>めぐ</sup>御座を巡りて 勝ち歌を歌える  
み使いと共に  
待ちに待ちし 主は来ませり ハレルヤ  
<sup>は</sup>栄えある勝ち歌 いざ共に歌わん



## 背負ってくださる神様

「あしあと」という詩をご存じでしょうか。マーガレット・F・パワーズというアメリカ人女性が作ったのだそうですが、とても感動的な詩です。かいつまんで内容をご紹介しますと、次のようになります。

“私は、主と一緒に浜辺を歩いている夢を見た。砂の上には二人のあしあとが残されていた。ところが、ある所から、あしあとが一人分になった。それは、私が一番つらい経験をしている時だった。私は主に訴えた。どうして私が一番つらかった時にお見捨てになったのですか、と。すると主は言われた。私は決してあなたを見捨てなかった。あなたがつらかった時、私はあなたを背負っていたのだ、と。”

主なる神様は、私たちをいつも愛してくださいます。神様は、そのひとり子イエス・キリストをこの世に送り、十字架におつけになりました。それは、私たちを罪から救うためでした。

私たちは神様によって造られたにもかか

わらず、神様から離れ、神様に背を向けて歩む者となっていました。そのような私たちを、神様はそれでも愛してくださり、ご自分のひとり子を十字架におつけになったのです。私たちが罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、どのような罪も赦され、救われます。神様は、そこまでして私たちを愛してくださったのです。

それほど愛してくださった私たちを、神様は背負うようにして導いてくださいます。聖書にこうあります。「あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがたが白髪になっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。わたしは運ぶ。背負って救い出す。」(イザヤ書46章4節)

神様は、私たちがどのような時でも私たちがを愛し、真実をもって支えてくださいます。親に背負われている子どもは、全面的に親に信頼して身を任せています。私たちを責任をもって背負ってくださる愛なる神様に、安心してゆだねていきましょう。

# 宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



教会HP



礼拝動画

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:30

第二部 11:00~12:00

わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



「 シュウカイドウ 」 — 晩夏から秋へ —

幾つもの厳しい暑さを 越えてきた今  
ようやく秋の兆しのような ひと風にふれて 胸をなでおろす

シュウカイドウは このような季節に咲く 秋の花だ  
日陰や半日陰で 湿り気のあるところを好む花である  
暑さにも強く 戸外で冬越しもできる  
江戸時代に園芸用と 中国からやってきた 帰化植物である  
春に咲く<sup>かいどう</sup>海棠という花に似ていて 秋に花を咲かせるので  
<sup>しゅうかいどう</sup>秋海棠と呼ばれている

緑の大きな葉の わきから伸びた 紅く細い花茎が  
何度か2つに分かれて 淡いピンク色の雄花が 正面を向いて咲く  
黄色い雄しべが 鮮やかだ  
雄花が次々に咲いた後 雄花より 小さい雌花が 下向きに咲く  
少し淋しげで 憂いを帯びた姿は  
華やかさはないが 風情のある 美しい花である  
しかし 丈夫な花である  
葉のわきに<sup>むかご</sup>零余子をつけ それが地面に落ちて ふえていき  
時に群生し 野生化もする たくましい花である

神に従う人は なつめやしのように茂り  
レバノンの杉のように そびえます  
主の家に植えられ わたしたちの神の庭に茂ります